



- 学校教育目標 : ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校（美しい心の育成&美しい環境の整備）
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気です！

## 子どもの成長と子育て四訓

校長 沖中 直樹

いよいよ秋らしくなってきました。令和5年度も折り返しをちょうど過ぎたところです。4月から学校ではさまざまな行事や教育活動を行ってきました。多くの世代の方と関わることで子どもたちが学んだことは数多くあることだと思います。しかし、何といっても子育ての基本は家庭です。

そこで、「子育て四訓」を紹介します。

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

小学生は「幼児は肌を離せ、手を離すな」から「少年は手を離せ、目を離すな」に向かっていく時期ではないでしょうか。子どもが失敗しないように親が先回りして手助けをする。手を離す時期にも関わらず、がっちり手を握ったままで肌を密着させることは、年相応の自立へと向かいません。小学生は家族、友だち、異学年の子、地域の方など他者との関わりの中で社会性が育つ時期です。しっかりと活動範囲を広げてやる必要があります。

一方、高学年になると成長とともに子どもが親に反抗したり不安定になったりする時期にもさしかかります。これは子どもたちが「自分のことをもっと見てほしい」というメッセージを送っているのかもしれませんが、それは成長過程であり、親としてはしっかりと子どもと向き合い、ともに成長することを心がける時期なのでしょう。

もちろん、上に挙げた四訓の言葉だけで子育ての全てを言い尽くされ、うまくいくというものではありません。しかし、少しでもこれからの子育てのヒントになればと思います。

今後も、家庭、地域、学校が互いに連携・協力し、「未来の宝」である常盤の子どもたちを共に育てていきましょう。

美しく

【校訓】たくましく

かしこく

チャレンジ目標

- ☆ ともだちとあいさつ
- ☆ きもちのよいあいさつ
- ☆ わたしからあいさつ

